ISSN 1880-8395

東京学芸大学附属図書館報

ライぶらり

TOKYO GAKUGEI UNIVERSITY LIBRARY NEWS

子どもから学ぶ

櫻井　眞治

優しいお兄さんやお姉さんであるだけでは、いけない。子どもと、どういう関係であればよいのだろう。40人の子ども一人ひとりに応えることができるのだろうか。学習指導案に予想していない子どもの反応に、どのように対応すればよいのだろう。私が現在、事前指導を担当しているクラスの問題意識です。

かく言う私も、附属小の実習で忘れられない経験があります。１年生の算数「長さ比べをしよう」でのこと。カラー紙テープを一人ひとりの子どもに準備しました。「端をそろえ、テープをピンと伸ばしてやろうね。」と長さの測り方を確認した後、いよいよ教室にあるものの長さを測ります。すると、その活動が始まるやいなや、大勢の子どもが私の所に押し寄せてくるではありませんか。

ええっ！学習指導案には、予想していない動きです。慌てた私は、「ここじゃないよ！危ないから戻って戻って！」と、子ども達を戻します。･･･放課後の協議会で、この場面が話題になりました。「子ども達は、先生の身体をテープで測りたかったのではないですか？子どもが何を始めるのかを見て、測らせてあげたら、子ども達は満足し、また違った発見が生まれたのではないでしょうか！」今でも折りにふれて思い出す指導教官の言葉です。

子どもの「やってみたい、知りたい、考えたい」が実現する授業。子どもから学ぶ教師。現在でも追究していることの芽が、教育実習の一コマにあったのです。子どもから学ぶ、子どもとつくる、共に生きる。そのためにも、体調を整え、しっかりと準備をして子どもの前に立つ。そして、よい意味で子どもに割られ、「よし！今度の授業では、これを！」と、挑戦を続けて下さい。

（さくらい・しんじ　教育実践研究支援センター教育実習指導部門准教授）

［特集］教育実習

◆子どもから学ぶ（櫻井 眞治）　1
◆授業で活用！ 学校図書館（吉岡 裕子／村上 恭子）　2～3
◆自著を語る（上嶋 玲子）　4
◆教育実習のための図書館お役立ちミニ情報　4

Vol.37 [No.2] 2008.6

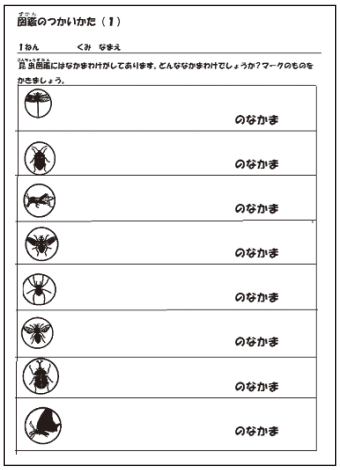
授業で活用！学校図書館

吉岡　裕子
村上　恭子

附属世田谷小学校編

【情報リテラシーのはじめの一歩】

「調べ学習」ができるようになるには、まずレファレンスツールの使い方ができなくてはならない。そこで、ひらがなを習い終わった１年生の２学期、図鑑を使った学習を行っている。男女ペアとなって２人で１冊ずつ同じ図鑑を持つ。『ニューワイド学研の図鑑昆虫』を使っている。目次の見方、図鑑の使い方のページ（凡例）、仲間分け昆虫の大きさの見方、「この記号は何だろう」と一緒に見て、図鑑クイズも行う。


図鑑のつかいかた（１）

１かん　　くみ　なまえ

昆虫図鑑にはなかまわけがしてあります。どんななかまわけでしょうか？マークのものをかきましょう。

のなかま
のなかま
のなかま
のなかま
のなかま
のなかま
のなかま
のなかま

カタカナを習い終えた２学期末ごろ索引の仕組みを知り、一緒に使ってみる。索引が引けるようになると、分からない言葉を国語辞典を使って調べられるようになる。そこで、総ルビの国語辞典を1学級分購入した。こうして、国語辞典、百科事典が使えるようになっていった。その後、２年生でも図鑑の学習の第２ステップを行っている。

【４年生にブックトーク】

社会科の単元『ゴミ』を学習する時、普段「ゴミ」についてあまり考えていない子どもたちに自分たちの生活を振り返りながら積極的に学んでいけるよう、本を５～６冊選び、順番につないで紹介していくブックトークを組み立てた。この結果、実際の授業の中で、子どもたちの発言に紹介した本をあげている子どもたちがいた。その後、子どもたちは幅広く調べに来た。ゴミの本は環境のところだけでないことも理解したようだった。

【５年生には理科の授業でブックトーク】

理科の学習で「天気」の単元に入る頃、担当の先生から天気の調べ学習をさせたいと依頼された。そこで、子どもたちに天気の分かりやすい本を紹介するために、ブックトークをした。５～６冊の本の中に気象予報士の本があり、過去に予報士が経験したことで、引き忘れた天気図の線で天気が変わってしまったことがあった。このようなことから、今まで天気図に興味を持っていなかった子どもたちが興味深く本を手にとっていた。その後、「天気」を調べに来て天気図の本を選んでいる子どもたちがたくさんいたので、ブックトークで紹介した本を含めて天気の本の展示コーナーを図書館に作った。

学校図書館は楽しい雰囲気を作って読みたい本をたくさん揃えておくことは大事なことだが、子どもの読書の幅を広げ、読む力を養っていくところだと思う。また、分からないことを自分で解決する力と技も養っていかなくてはならない。このことが、中学の学習につながっていくはずである。

ISSN 1880-8395

附属世田谷中学校編

図書館を利用した調べ学習はどの教科も可能だが、本校では特に国語の授業のなかで調べることを繰り返し行うことで、情報活用能力の向上、思考の深化を目指している。

【中学１年　興味関心を広げる】

ここ数年１年生は、環境問題のレポート作成、環境ポスターづくり、“気になる仕事を紹介しよう”…仕事に関する本を一冊読んで、グループで仕事を紹介する冊子を作成し、プレゼンテーションをする、等に取組んできた。いずれも、できるだけ多様な資料を用意し、１学年160名の生徒が、自分の興味関心がもてる本を選べるように心がけている。テーマの広がりだけでなく、難易度も個々の生徒にあわせてビジュアルでわかりやすいものから、やや高度な専門書までを視野にいれて選書を心がけている。

今年は、４月初めの国語の授業「ふしぎ」という金子みすずの詩の学習に関連づけて、福音館の絵本『たくさんのふしぎ』を読んでもらうことにした。小学校から約200冊の絵本を借りて、テーマ別に並べた絵本を手にとってもらい、自分の興味関心をひいた絵本２冊を選び、内容を読みとりまとめ、短い感想を書くという授業を行った。この絵本はとても面白い切り口で書かれているのだが、薄くて棚に埋もれてしまうため、小学生ですらなかなか手にとってくれないという。このような機会をとらえて、読むこと・知ることの面白さをぜひ実感するとともに、的確にまとめるといったスキルを身につけてほしいと思う。

【中学２年　１冊をしっかりと読む】

２年生は古典の学習に関連した調べ学習も多いが、２年前担当の先生から言葉に関する授業を考えているので資料を用意してほしいと依頼があった。言葉に関する本はもともと蔵書も多いが、公共図書館の団体貸出制度も利用し300冊近い本を用意し、別置した。選んだ１冊をもとに、言葉という共通キーワードでさらにクラスでの授業を深めていった様子を見せていただき、このような調べ学習も有意義だと感じた。「各自が、少なくとも１冊読み込んでいるおかげで、誰もが話し合いに参加できたことが大きかった」と担当の先生も話していた。

【中学３年　１冊をもとに、広がり、深まりをめざして】

３年生は毎年「世界の子供たち」という単元学習の後、子どもたちをとりまく状況について調べて、自分自身の考えを書くという課題に取組んでいる。単元で学習した発展途上国の子どもたちの問題を自分にひきつけて考えられる生徒もいるが、自分に関係ない遠い世界のことと思う生徒もいる。そこで、今日本の子どもたちが抱える問題も同じように追求すべきテーマであることを知らせると、興味をもっていじめやひきこもり、ネット犯罪、虐待、ニート…といった問題について調べ始める生徒もいる。最低一冊は必ず読むことを義務づけているが、そこからさらに関連する資料やインターネットにあたり、学習を深めていく生徒も少なくない。

今後も学校図書館の資料を活かした学習のあり方を先生方と一緒に探っていきたいと思っている。

（よしおか・ひろこ　附属世田谷小学校司書）
（むらかみ・きょうこ　附属世田谷中学校司書）

自 著 を 語 る

『あすの授業アイデア　チョイ引き活用事典』

（東京学芸大学附属小金井小学校編著　学事出版　2006年３月）
（図書館１F開架　375.1/TOK）

上嶋　玲子

「教師は授業で勝負する」というように、教師であれば誰もが、よりよい授業実践を日々求めている。目の前にいる子どもたちが生き生きとしながら学習する授業をしたい、と思う気持ちは、教員の卵である教育実習生であろうが、新人教員であろうがベテラン教員であろうが同じであるといえよう。本書は、そのような教師たちの願いを１冊にまとめた授業アイデア集である。全科を教える本校の教員（音楽、図工、家庭は専科教員）が、ほぼ全学年分の小学校各教科、道徳、学校保健、学校図書館の基本的な実践について、今日読んで「あすの授業」にすぐ使えるヒントや情報としてまとめたものである。１つの事例に「ベーシック実践」と「アイデア実践」があり、ポイントとなる活動場面では写真を多用し、具体的なイメージを持たせやすくしている。事例には、ひとくちメモや執筆者の理由付きのおすすめ情報もある。また、すぐに調べることのできる４つの索引機能（事例項目、人名、書名、用語）も充実し、キーワードから授業実践をみつけることもできる。教職経験を問わず、パラパラとページをめくっていくうちに、授業実践が楽しみになる１冊であると自負している。特に、教育実習前に、各教科の基本的な指導法や技術などを身に付けたいと思っている学生のみなさんにおすすめの１冊である。

（うえしま・れいこ　附属小金井小学校教諭）

教育実習のための図書館お役立ちミニ情報

検定教科書・教師用指導書

- １階教科書・指導書コーナーに最近２改訂分を配架し、いつでもだれでも利用できるよう貸出不可。
- それ以前のものと、小・中学校の教科書複本は書庫配架で貸出可能。
- 教師用指導書を探す時には、教科書記号・番号（主に教科書の表紙や奥付に表示）をチェックすると便利！

学習指導要領

- 一般の図書として配架しているので貸出可能。
- 学校種別毎に発行されるが、教科毎の抜粋・解説版もある。
- 文部科学省編集のものだけでなく、一般の出版社発行の解説版もあるのでOPACで所蔵をチェック！

Vol.37 [No.2] 2008.6

［編集発行］東京学芸大学附属図書館
〒184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1　TEL 042-329-7223 / FAX 042-329-7226
●URL http://library.u-gakugei.ac.jp/　●携帯版URL http://library.u-gakugei.ac.jp/i/

［表紙・キャラクターデザイン］美術・書道講座　正木賢一